

# ランキュラス「エムホワイト」かぎ芽苗の球根生産能力

ランキュラスの球根養成栽培では、  
かぎ芽苗はメリクロン苗より有用な球根を多く収穫できます。

## 背景・目的

■ランキュラスかぎ芽苗を利用した新球根増殖技術を確立しましたが、従来のメリクロン苗に対する、かぎ芽苗の球根生産能力を明らかにするために行いました。

## 成果の内容

- 1株あたりから得られる総球根重はかぎ芽苗がメリクロン苗より重いです(図1)。
- 1株当たり得られる球根数は、いずれも約6個です。
- Mサイズ以上(次作で利用されやすい)は、かぎ芽苗からが約3個、メリクロン苗からが約2個です(図2)。

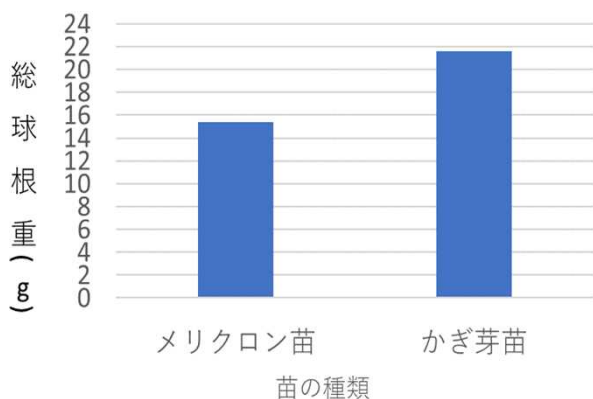


図1 得られる株あたり総球根重

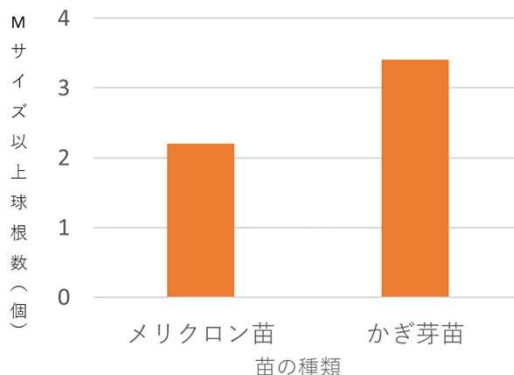


図2 得られる株あたり  
Mサイズ以上の球根数

## 成果の活用方法(又は期待される効果)

- ランキュラスの球根養成栽培において、かぎ芽苗の生産能力はメリクロン苗より高く、増殖に使われる苗として有用です。
- 今後、かぎ芽苗の利用を普及することにより、球根の増殖効率の向上が期待されます。

■普及対象地域・面積 県内の種苗増殖機関

## 留意点

- 「エムホワイト」の1年養成球からのかぎ芽を用いた結果です。
- 総合農試(宮崎市)での試験結果です。
- 普及対象はバイテクセンターおよび県内民間種苗業者とします。
- かぎ芽はウイルスフリー化したメリクロン苗から得られた球根から採取します。